

てきました。今、改めて実感して
いますが、この放射線被曝こそが
活性酸素が生物に与えるメカニズ
ム、そのものなのであります。図
1から3は、私が約30年前から発
表している私の論文の抜粋であり
ます。興味のある方は論文もぜひ
お読みください。

.....

まず放射線の説明の前に、太陽
光の発生する「光」について説明
します。

図4にありますように、太陽光
線は波長の短い放射線から、波長
の長い短波、長波までの光（電磁
波）を放出しています。最も波長
の短い放射線は、まず強力な放射
線を放出します。その次に波長の
短い光は、皆さん良くご存知の紫
外線です。日光にあたるとどうし
て消毒になるのですかと問われる
ことが多いのですが、これは、日

光の中の紫外線が地球上の物体に
放出されると、照らされた表面に
活性酸素の中の「 O_2 」を発生しま
す。この活性酸素（ O_2 ）が表面に
いるカビや細菌のDNAを破壊、
すなわち殺菌効果になるわけです。

活性酸素は微生物を攻撃して人間
の身体を守ってくれる非常にあり
がたいものです。しかし、紫外線
も過剰に浴びれば、人や動物のD
NAを攻撃して、様々な炎症をひ
き起し、場合によっては発がんに
まで至ることがあるのです。近年、
クーラーの出すフロンガスでオゾ
ン層が破壊されることで紫外線が
強力になり、今までカビやばい菌
の殺菌作用のためにありがたかつ
た紫外線が、ヒトや動物の遺伝子
を攻撃して、ついには皮膚がんの
発生を危惧する事にまで発展して
いるのです。
ところが紫外線よりもさらに波

長が短く、より強力な活性酸素を
発生させるのが放射線なのです。
放射線による遺伝子の破壊、発が
んはすべて放射線によって発生す
る活性酸素（OH・）によって発生す
る活性酸素（OH・）はドロキシラ
ディカル）なのです。図1〜3に
示したように、放

出した放射線は、
ヒト、動物の細
胞核中の一番大切
なDNAに浸透し
て、活性酸素すな
わちOH・ラディカル
を発生させます。
次に遺伝子すなわ
ちDNAを構成し
ている基本単位で
あるリボースの4
番目の炭素（ C_4 ）
についている水素
（H）と、放射線
により生じたOH・が

結合して水を形成します。ついに
は C_4 についていたHが失われるの
で、ここに遺伝子の穴が作られる
のです。この変化が一度にかつ大
量に起こる強大な被曝により、体
内のDNAがすべて破壊され死亡

図4 太陽光線の波長別分類

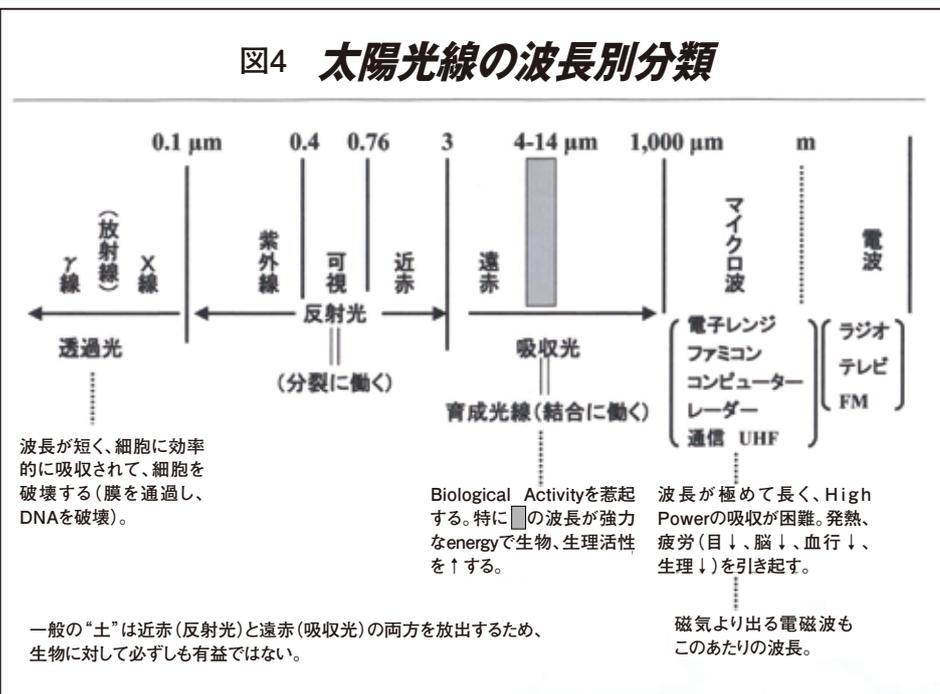


図1 放射線による活性酸素(OH・)発生機序

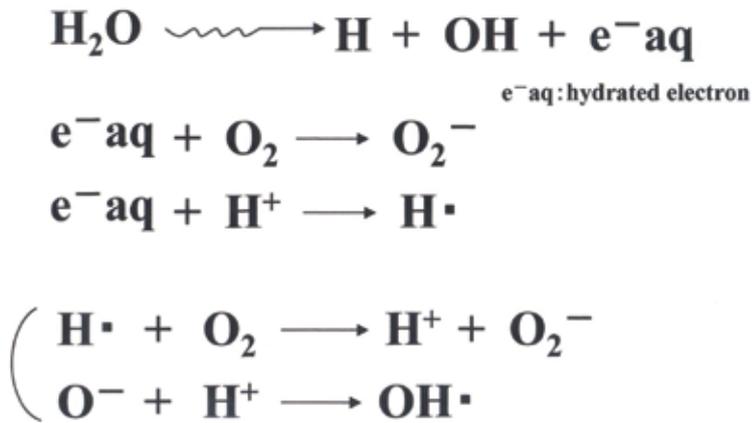


図2 遺伝子(DNA)の構造

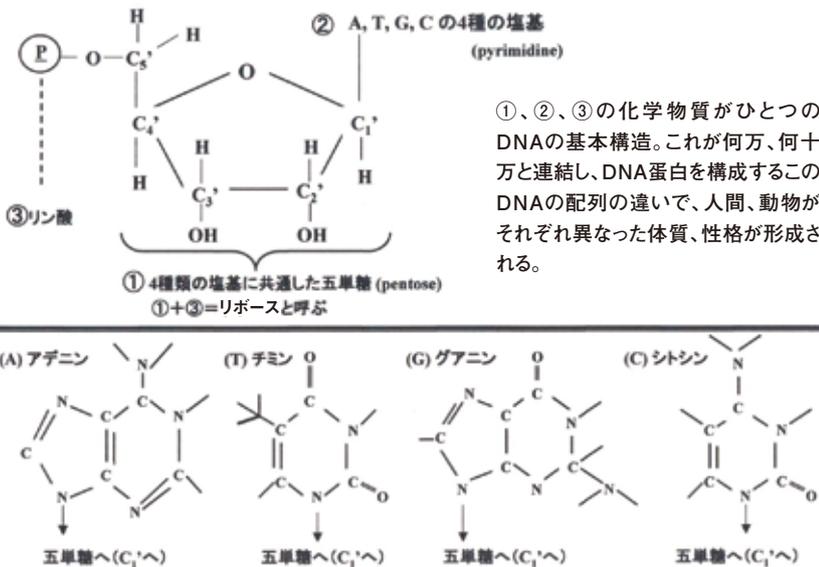
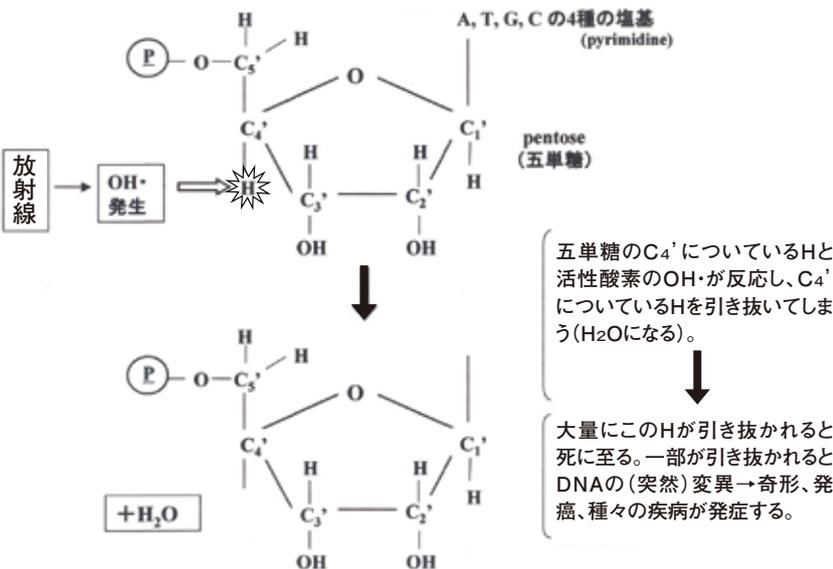


図3 放射線が作用(破壊)するDNAの部位



に至り、被曝が軽度でも、構造の乱れた、いわば「狂ったDNA」が脈々と存続して受け継がれ、突然変異、奇形、場合によっては発がんに至るまで発展するわけです。死

亡する場合は急性の体内の変化で、放射線が「怖い、怖い」と言われるメカニズムは、今まで述べた

活性酸素(OH[·])の発生により引き起こされるDNAの構造変化なのです。チェルノブイリで起こった原発事故は、事故現場で大量に放射線を被曝した方々が、DNAのC4'のHが全部、抜かれてしまい即死したのでしよう。原発周囲何10

キロ圏内に住んでおられた方は比較的放射線の被曝が軽かったため、必ずしも遺伝子のDNAのダメージが起こったとは言いきれません。しかしながらこのダメージ、すなわち「狂ったDNA」による奇形児の発生や発がんのリスクを皆さ

んが心配されるのは痛いほど理解できるのです。

このようなことを言いますと、また私が悪者になって憎まれますが、政府の福島原発への対応は子供だましのように思われます。広



島、長崎の時と同様で、ピカッと光った瞬間からOH \cdot (OH \cdot ラディカル)によるC₄の日抜きが始まるのです。ですから光る前に、要するに放射線被曝をする前に避難をしないと

狂ったDNAがどんどん体内で増えてしまうのです。

後手、後手に回った政府の対策で皆さんは放射線をすでに被曝しているのではないかと強い不安を抱かれています。今さら住環境を原発から離れたところに移動させたとしても、奇形や発がんのリスクが体内で起こっているのではないかと考えるのは当然のことでしょう。さすれば、今後どうやって浴びたであろう放射線により種々の病気が起こらず、がんにならず、どうやって健康に生きていけばいいのか、前向きな発想に転換しなければなりません。

今後、浴びてしまった放射線からどのようにしたら健康に生きていけるのか、ということ。原発事故の周辺に残存している放射線は、図2、3のように、DNAの

C₄のHを奪い、DNAを少しずつ傷つけています。それを阻止するには、放射線がC₄のHを引き抜くこととするOH \cdot ラディカルを消去することです。このOH \cdot ラディカルを消

去することができるのは、抗酸化剤(SODなどの高分子や低分子の抗酸化剤)です。そこで我田引水になります。活性酸素を落す抗酸化剤、これこそ私が40年、がんの研究と共に人生を賭けてやってきた生化学研究のたまものなのです。つまり、活性酸素、OH \cdot ラディカルを取り除くには、SOD様作用食品がいちばんなのです。このSOD様作用食品は、学会や論文で、国際医学雑誌でも繰り返し繰り返し素晴らしい抗酸化力を証明していることが発表されています。もちろん、グレープフルーツなどの新鮮なビタミンCも活性酸素を落す力があります。この活性酸素を落す

力に抗酸化力といえます。新鮮な果物、ビタミンE、ビタミンA、フラボノイド、ポリフェノールなどの低分子化合物にも抗酸化力があります。

放射線汚染が心配な方は、まずSOD様作用食品を飲んでいただき、加えて抗酸化力の高いビタミンC、ビタミンE、ビタミンAなどを大量に含んだ食事をされることをお勧めします。

くれぐれも科学的根拠のない放射線を除去する」と謳ったものは気をつけてください。

丹羽耕三(医学博士
土佐清水病院院長)

◆丹羽先生診察ご希望の方は
御紹介、御予約いたします。
※自由診療となります。
丹羽メディカル研究所
0120(731)175
もしくは
日本SOD研究会
03(5787)3498
まで お電話ください。

SOD愛飲者
インタビュー

高血圧や貧血も改善

膠原病の不安をSODが払拭

神奈川県 中条朋美さん(44歳)

都心から電車で1時間。比較的

新しいマンションや一戸建てが立ち並び、住民のほとんどがお子さんを待つファミリー世帯という環境にお住まいの朋美さん。この中条家もご主人と小学生のお嬢さんふたりの4人家族。上のお姉ちゃんは今新体操。下の妹は水泳が大好き。ご主人も週に3回はスポーツクラブに通う健康一家です。

しかし、朋美さんには不安なことがあります。それは、彼女のお母様の健康がすぐれないこと。今は関西の実家でお父様との二人暮らしをしています。

「母は昔から身体が弱かったんです。食べ物の好き嫌いが多く小食で、しょっちゅう寝込んでいたの

を覚えています。そんなこともあつ

てか40歳を過ぎてから関節炎のような症状を訴え始めたんです。その頃はリウマチじゃないかとお医者さんもおっしゃっていて、たぶん、痛み止めの薬をもらっていたと思います」

ちょうど朋美さんが高校生から大学生にかけての時期と重なり、母親のことよりも自分のことではいっぱいだったと言います。思春期の女の子ですから、おしゃれや好きなタレント、進学や就職、恋などでいっぱいなのもうなずけます。

「入院するほどのことではないし、またいつもの具合が悪いの延長線上だと思っていましたから。私も大学で名古屋のほうに出て、その

後、東京ですから、母の状態をほとんど知らずに過ごしてきたんですね。ところが、そんな母の病気が、膠原病という難病だと知ったのは、30歳になってからだったと思います」

朋美さんにとって膠原病というのは、これまでまったく耳にしたことのない病気でした。ですから最初は「高原病」だと思っていたとか。空気が薄くなると呼吸が困難になる高山病の親戚くらいに思ったそうです。しかし、実家に帰った時「母の手足の指が内側に曲がっていて、戻らないのを見て驚きました」

その時に初めて、膠原病という病気に向き合ったそうです。

「いろいろ調べました。調べれば調べるほど、難しい病気なんだってことを知りましたね。それに、治りにくいことも。また、お医者さんから遺伝の可能性もあると言われ、急に不安になりましたね」

というのも朋美さんは結婚を控えていたからです。もしも子供ができたとき、膠原病が遺伝するのでは。その前に自分が遺伝で発症する可能性があること。これまでに大きな病気もなくすごしてきた健康というものが根底から揺らぎ始

SOD様作用食品 体験者の声をお聞かせ下さい。

難病で苦しむ方たちが、少しでも早く良い治療法に行き当たるように、本誌では愛飲者の声を募集しています。お手数ですが、

〒154-0012 東京都 世田谷区
駒沢 5-13-1-205

日本SOD研究会 藤沢宛
TEL 03-5787-3498

までご一報ください。

めました。

「毎回、大量のお薬を処方されている母を見て、大丈夫かなと思いましたが。ステロイドを中心に、降圧剤、胃薬、骨の薬、痛み止めなどほんとうにすごいんです。副作用もあるだろうから、少し減らせないの？と聞くと、お医者さんがくれるものだから大丈夫の一点張り。昔の人ですから、副作用なんて言っても理解できないんです」

歳と共にお母様の状態はどんどん悪くなり、10年後には階段の上がり降りや、買い物などの外出もできなくなったそうです。

「もともと偏食のせいもあって、骨がぼろぼろになったんです。つい先日も椅子から立ちとうとしただけで骨折して入院しました。多分、もう家には帰れないんじゃないでしょう。逆に、帰らないほうが安全ですよ。またなにかで骨折したら大変ですから」

そんななか40歳を過ぎた朋美さんにも変化が訪れました。

「ずっと血圧は高めで、これは母からの遺伝ですが、40歳過ぎてから検診で引っ掛かるようになって、降圧剤を勧められたんです。と同時に貧血もひどくなり、週に一回は寝込むようになったんです。来だな、と思いました。そう思うとどんどん不安になって、寝違えただけでも関節がおかしかもしれないと被害妄想になってました」

そんなとき、息子さんのアトピーで新横浜の診療所にも通っていたというお母さんから、副作用がなくて自己免疫力を高めるからと勧められたのがSODでした。

「お話を聞いていると確かに良いものなんだとは思ったんですが、健康維持にはいいかもしれないけど、現実には悪いところがあるので、これはやはり病院に行ったほうがいいと思っただけです。それで行く

たら、更年期でホルモンのバランスが崩れやすいから仕方ないんだと言われました。たったの5分の診療で、降圧剤と鉄分補給の薬と、胃薬を出されて、これじゃなにも改善しないと思いましたね」

です。もうびっくり。病院の先生は薬のおかげだと思っっていますし、これからもしばらくは飲み続けるように言われましたが、私、病院の薬なんか一粒も飲んでいなかったんですよ。おまけに貧血も忘れていたくらいなくなって、嬉しかったですね。あわててSODを買いました。これからは一生、SODをお願いします。ここ十年くらいずっと不安だった胸のつかえがとれました」

「ここ数年、肌荒れがひどく、吹き出物も多かったんです。ところが1か月して、肌がしっとりしてきただけです。もちろん、吹き出物もまったく出なくなっていて、あれ？と思いました」

さっそくご実家のお母様にもSODを送られたそうです。「もう、何も怖くないって感じですよ。秋には子供たちの運動会。父母として私も競技に参加して走ってきます。なんか活力がよみがえってきましたみたいですよ」

しかし、これがSODの効果だとは分からなかった朋美さん。「SODを飲み始めて1か月後、病院で血圧を測ってもらったんです。そうしたら平常値に戻っていたん

です。病は気からとも言います。SODで不安のものがなくなり、身体はどんどん自己治癒力をアップさせてくれるはずですよ。